

令和5年度 事業所向け 放課後等デイサービス 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保している。デイルームやホールを活動によって分けて活用している。近所の公園などを利用し屋外遊びの機会を設けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数であるが、利用者の特性等を考慮すると困難な面もある。常にケガなどの安全面に目を配るように留意している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	建物の構造上段差や階段があるため柵や保護材を付けて対策している。玄関の段差は大きく、介助を要する子もいる。今後も随時危険防止策を講じていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		日々のカンファや月2回のミーティング等のほか、日常的な意見交換、情報共有等で確認し対策を検討しながら実施しているが十分とは言えない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回保護者の方にアンケートを依頼し、成果や課題を把握すると共に、面談や雑談等から保護者の率直な意向を汲み取り業務改善に生かしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			年1回事業所向け自己評価表及び保護者向けアンケートを実施し、結果や改善内容等を当事業所のHPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者による外部評価は行っていない。今後必要に応じて実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			講師を招き幼児救急法や防災等の研修を行っている。個別に外部機関の研修やオンライン研修等に参加している。ミーティングの際、出張報告による研修を行った。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			園独自のアセスメント票を作成し活用している。また、相談支援員のサービス計画を基に児童の発達状況や課題、保護者の方のニーズや希望を把握し作成している。
	10	児童の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールは使用していないが、保護者から専門機関で受けた検査結果等のコピーを提供していただき活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の職員ミーティングや日々のカンファレンスで話し合い検討し立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		年間通して継続する活動もあるが、調理や季節のイベント等は利用者の特性や嗜好等に配慮し工夫している。長期休暇の活動は吟味し創意工夫に努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		主活動以外にも、子どもたちの発達状況や特性、嗜好等に合わせてプログラムを用意するようにしている。
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			主活動は集団活動で行うが、利用者の特性や課題等を考慮し個別に対応している。自由時間は個別にリラックスして過ごせるよう環境を整え、活動を計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日カンファレンスを行い支援の内容や役割分担等を職員間で確認した。長期休暇中は日々の活動計画細案を作成して配付し、確認し合いながら業務を行った。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日のカンファレンスで報告し合い共有すると共に、業務日誌や職員用の連絡ノートを活用し、気づいたことや支援の変更等を職員間で共通理解するようにした。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を確実に行うと共に、デイでの様子や保護者とのやりとり等を踏まえ支援を柔軟に再構築し実施している。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に支援会議で話し合いながら年2回、半年ごとにモニタリングを行い、個別の支援計画の目標や支援内容を見直し作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			放課後等デイサービスガイドラインで示す支援内容を基に、児童の発達状況や課題を把握した上で個別の支援計画の支援内容を設定している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や、児童及び家庭の状況を把握した者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		学校の情報はメールやホームページ等で確認している。個別の事案に関しては、送迎の際に担任とやりとりをしている。
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアを要する児童の利用はないが、お受けする場合は主治医等と連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて、文書や電話、会議等で情報交換等を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		情報提供等の問い合わせはないが、求めに応じて保護者の了解も得ながら文書や電話、会議等で情報提供できるよう準備している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修への参加、関係機関への相談や連絡を必要に応じて行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない児童と活動する機会があるか	○			障がいの有無にかかわらず児童の利用を受け入れている。長期休暇などには兄弟関係の利用があり、障害のない児童と一緒に活動し交流する機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の子ども部会へ参加している。
	28	日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的な面談の他、送迎時に口頭でやりとりを行うと共に連絡帳や日々の記録を通して、子どもの状況や成長、課題などを伝え共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			キラキラ療育教室や保護者との面談を行い、情報提供や育児などの相談対応する場を設けている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。質問があれば随時丁寧に説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳による相談などには、迅速に対応すると共に、必要に応じて面談の場を設け、話を傾聴し助言や情報提供等の対応を行っている。

保護者への説明責任等	32	保護者会や研修会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか。	○			月一度のキラキラ療育教室を行っている。今後も広く参加を呼びかけていく。
	33	児童や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情に関する体制整備については契約時に説明を行っている。苦情があった際には、迅速に対応し話を傾聴し解決するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者に対して発信しているか	○			メールやコドモン、文書でのお知らせや掲示と共に、ホームページへの掲載を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いについては全職員で共通理解を図り、漏洩等のないよう細心の注意を払っている。
	36	障害のある児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童一人ひとりの特性や発達に合わせた方法で対応している。保護者の方に対しては、文書と共に口頭で説明したり、情報を伝えるタイミングや方法等を配慮するようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	防犯や子どもたちの特性上、開かれた交流の場は作っていない。コロナ感染以降はさらに外部の方を招き交流することに消極的な面がある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			感染症対応マニュアルをはじめ、各種マニュアルは全職員が把握すると共に保護者が見ることができるようホームページに掲載している。非常災害に備え、防災グッズの定期確認と避難訓練や避難路確認等を実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを確認すると共に、職員間で協議し適切なかわりを共有できるよう話し合っている。所内外の研修機会をさらに図っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	比較的軽症な事例のため、保護者を通じた情報提供に基づき対応している。必要に応じてアレルギー検査結果の提出を求め、全職員で共通理解を図っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット、インシデント、事故報告書を作成し共有している。今後も努めて作成していく。